

ご存知ですか？
11月1日は「紅茶の日」です。

紅茶の日

外販課 山島 秀章



普段コーヒーばかり飲んでいるので紅茶のことを調べてみました。

紅茶の日は1983年（昭和58年）に日本紅茶協会により定められました。その由来は、1791年（寛政3年）の11月1日に、伊勢の国（現・三重県）出身の船頭・大黒屋光太夫という人物が、ロシアの女帝・エカテリーナ2世のお茶会に招かれ、日本人として初めて本格的な紅茶を飲んだという逸話からきています。

紅茶にはさまざまな薬効成分が含まれていますが、具体的な効果は

① 脳卒中予防・血圧上昇を抑える

ラット（ハツカネズミ）を通常のエサで飼育したものと、茶カテキンを用いて飼育した場合とでは、脳卒中による死亡が2週間も遅延する結果が報告されています。

② ガンを抑制する

紅茶の主な成分であるポリフェノールは、ガン細胞が別の血管に接着するのを著しく阻害することが動物実験でわかってきました。

③ 動脈硬化の進行を抑える

血管内にコレステロールや脂肪、カルシウムなどが沈着して、血管壁が硬く、内腔が狭くなる状態をいいます。これが進むと血小板の凝集作用が高まって、血栓ができやすい状態になってしまいます。その血栓の予防に紅茶が有効であるという実験報告があります。

④ インフルエンザの感染を阻止する

紅茶の抗ウィルス作用を市販のうがい薬と比較したところ、予想以上に紅茶のほうに効果があることがわかりました。出がらしの紅茶で十分効果がありますので、特にインフルエンザが流行する冬場は、お出かけ前や外から帰った後に、毎回「紅茶のうがい」をする習慣をつけましょう。

成分も素晴らしいですが、紅茶のこんな利用法もあるのです。

① 魚のおいをとる

魚を調理すると、どうしても魚臭さが残ります。水で洗ってもなかなか消えません。こんなときは、紅茶の葉で手をこすると驚くほどにおいが消えます。また魚を焼いたあとの電子レンジやオーブン、網なども、紅茶液をしみ込ませた布でふくと簡単ににおいを取り除くことができます。

② 冷蔵庫のにおいをとる

紅茶の葉を布やガーゼに包んで、冷蔵庫に入れておくと、冷蔵庫のいやなにおいを取り除くことができます。

③ スポーツドリンクに最適

マラソンのように持久力が勝負のスポーツは、かなりのエネルギーが必要です。人間のエネルギー源は体内の脂肪とグリコーゲンで、通常は脂肪より先にグリコーゲンが消費されます。しかしパワーを維持するためにはグリコーゲンは体内に残しておきたい物質です。ところが運動前にカフェインをとると、体内にグリコーゲンを蓄えたまま脂肪から先に燃焼することがわかりました。

私も是非紅茶を飲みたいと思いました。

ちなみに10月1日は「コーヒーの日」だそうです。

参考文献：日東紅茶 紅茶のマメ知識
<http://www.nittoh-tea.com/enjoy/knowledge/knowledge05.html>

SEASONTEA ～世界の紅茶への誘い～
http://www.seasontea.jp/effect_of_tea/kocha_no_seibun.html

農学博士 大森正司著「実用紅茶健康法」

今更聞けない Wi-Fiルーターの話

総務課 前田 光弘



パソコンが一家に一台だったのは遙か昔、現在は携帯型情報端末の普及によりインターネットに繋がられる機器は老若男女を問わず一人に1台持っているというご家庭も多いのではないのでしょうか。

そこで必要になってくるのが無線LANルーターという機械です。最近ではWi-Fiルーターと呼ばれる事の方が多いでしょうか。いわゆる1つのインターネット回線を複数台の情報端末で同時使用出来る様にする為の機械の事です。

ちなみに一般的な家庭で使用するルーターとは回線をルーティング（経路を選択及び制御）する機器を指します。つまり1つのインターネット回線に対し複数台の端末からの情報のやりとりを自動的に制御してくれる機器という事です。

また、無線LANルーターとは無線（電波）でLAN（ローカルエリアネットワーク：小規模の情報共有地域いわゆる家庭内）においてルーターに接続出来る機器という認識で問題ありません。Wi-Fiルーターという言葉が出てくる前はほぼこの呼び名でした。

このWi-FiルーターのWi-Fiとは無線LANに関する団体が「Wireless Fidelity：忠実な無線機能」という意味から造ったブランド名です。この忠実なという言葉は多くの無線機器と忠実に接続出来る事を意味する「忠実さ」を現しています。

余談ですが、無線LANルーターの箱に書いてある「Wi-Fi対応」という文字は接続が保証されている製品である事をWi-Fiというブランドロゴ的な意味で明示しているだけであり、特にWi-Fiという機能（そんな機能はありません）に対応している訳ではないのです。まぎらわしいと感じるのは私だけでしょうか？

ここまではWi-Fiルーターという機械の言葉的な説明をさせて頂きましたが、ここからは実際に家庭に設置する際のポイントをご紹介したいと思います。

① 窓の近くや部屋のすみに設置するのは避けましょう

Wi-Fiルーターから出ている電波は全方位に出ています。窓の近くという事は出ている電波の何割かが無駄な外へ出ている事になります。部屋のすみは壁や窓がすぐ近くに有るので同様ですね。また、セキュリティ的にも良くないです。

② 床の上に直接設置するのは避けましょう

意外に勘違いしている方が多いのですがWi-Fiルーターは床に直接設置すると床材や家具に邪魔をされて電波が届きにくくなります。Wi-Fiルーターは高い所に設置するのが好ましく地上1.5～2メートルが望ましいという声も有ります。

③ 水槽や花瓶、湿気を含む物の近くは避けましょう

電波は水に吸収されやすいという特性があります。水槽や花瓶、はては本や土壁といった水分を吸収しやすいものの近くへの設置は避けた方が良いでしょう。

④ 電子レンジなどの家電の近くは避けましょう

Wi-Fiルーターが使用する電波の周波数には電子レンジやコードレス電話にも使用されている種類があり電波同士の干渉が起こる場合があります。

⑤ 箱の中や外側から見えない場所への設置は避けましょう

テレビ台や収納ラックといった家具には収納用スペースが有りますが、やはり電波は大小の違いこそあれ遮蔽物によって弱まります。また、熱が出る機械でもありますので換氣的な面でも配慮が欲しいですね。

最後にWi-Fiルーターは消耗品であることを忘れないで下さい。

Wi-Fiルーターなんて一度設置したら何年間も365日24時間稼働しているのが当たり前なのだからと白物家電並に考えている人がいますが、あの金額で（最近では3,000円台から）買える家庭用電気製品に、そこまでの丈夫さは無いと考えて下さい。

ただ、ほんの少しWi-Fiルーターの設置環境に気を配るだけで快適なネットワーク環境が少し長く継続出来るかもしれません。

参照URL：<http://buffalo.jp/product/wireless-lan/place/>（BUFFALO）